

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2024年4月1日
【会社名】	オーミケンシ株式会社
【英訳名】	OMIKENSHI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 高口 彰
【本店の所在の場所】	大阪市中央区南本町四丁目1番1号
【電話番号】	大阪(06)6205-7300(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 大野 泰由
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区南本町四丁目1番1号
【電話番号】	大阪(06)6205-7300(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 大野 泰由
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生したため、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日
2024年3月20日

(2) 当該事象の内容

当社は、2023年9月28日付臨時報告書の通り、当社の連結子会社であるOMI DO BRASIL TEXTIL S.A.（オーミ・ド・ブラジルテキスタイル、以下「ブラジル社」という）の清算手続きを進めておりましたが、ブラジル社の清算が2024年3月20日付にて終了した旨の確認が出来ましたのでお知らせいたします。

(3) 当該事象の連結損益に与える影響額

ブラジル社の清算結了に伴い、2024年3月期第4四半期連結会計期間において為替換算調整勘定の取崩しによる特別損失（為替換算調整勘定取崩損）1,560百万円を計上する見込みです。

ただし、当該為替換算調整勘定は、連結貸借対照表の純資産の部において既にマイナス計上されており、純資産の金額を減少させておりましたが、清算結了に伴いそのマイナス分が除外され、純資産の金額を増加させることとなります。一方上記の通り、為替換算調整勘定の取崩しは会計上特別損失として計上され、当期純損失として利益剰余金を減少させ純資産の金額を減少させますので、純資産の部の中で両者は相殺されます。従って当該特別損失の計上による純資産の増減への影響はございません。

以 上